



図書館外観イメージ

図書館2階内観イメージ

図書館とスロープ

商店街と凹凸ファサード

学習スペース・ブース

米子市立図書館

商店街に近い図書館。図書館にカフェのような商店街にもある店を取り入れることにより、図書館も商店街の延長となり、商店街から図書館、図書館から商店街へ人がアクセスするきっかけとなる施設と考え設計した。ファサードを凹凸にしてガラスで内外の様子が把握できるようにすることで人がアクセスする際のサインとなると考えた。また、スロープでは美術館の市民ギャラリーと情報スペースが繋がっているため、市民ギャラリーでは市民作品を展示できるようにし、情報スペースでは本の紹介などをすることで市民が散歩がてらに立ち寄ることができ、個々の文化施設だけではなく連続的な文化空間として利用できる。

